

# イ・ムジチ合奏団



# IMUSICI



**2013年 10/19 (土) 18:00 サントリーホール**

Saturday, October 19, 2013 at 6 p.m. Suntory Hall

**S ¥10,000 A ¥8,500 B ¥7,000 C ¥5,000 D ¥3,000**

ロッシーニ(ガンパロ編): オペラ《セビーリヤの理髪師》序曲  
Rossini (arr: Gambaro): Overture from "Barber from Seville"

パガニーニ: モーゼ幻想曲(ロッシーニ《エジプトのモーゼ》の主題による変奏曲)  
Paganini: Variations on a theme from "Mosè in Egypt" by G. Rossini  
[ヴァイオリン: エットーレ・ベレグリーノ]

ヴェルディ: オペラ《椿姫》から 第1幕への前奏曲  
Verdi: "Traviata" - Preludio Atto 1°

プッチーニ(モリネリ編): オペラ《ジャンニ・スキッキ》から“私のお父さん”  
Puccini (arr: Molinelli): "O mio Babbino caro", from "Gianni Schicchi"

ロッシーニ: 涙(「老いの過ち」第9巻から)  
Rossini: Une Larme  
[チェロ: ビエトロ・ボスナ]

マスカーニ: オペラ《カヴァレリア・ルスティカーナ》間奏曲  
Mascagni: Intermezzo from "Cavalleria Rusticana"

グリムカ: ベッリーニ《夢遊病の女》の主題による華麗なるディヴェルティメント  
Glinka: Divertimento brillante on themes from "the Sleepwalker" by V. Bellini  
[ピアノ: フランチェスコ・ブッカレッラ]

ヴィヴァルディ: ヴァイオリン協奏曲集「四季」op. 8  
Vivardi: "Le Quattro Stagioni" op. 8  
[ヴァイオリン: アントニオ・アンセルミ]



# “安心”と“発見”と—— 永遠のイ・ムジチ

“永遠のスタンダード”—— 結成60年を超える、室内合奏団では異例の老舗イ・ムジチと、彼らの「四季」はまさしくその名に相応しい。だがこれほど長く皆を惹きつけるのはなぜか？ それは彼らが“永遠”の座に安住していないからだ。

アントニオ・アンセルミが初めてコンサートマスターを務めた前回2011年の来日公演では、古楽奏法を応用した切れ味抜群の「四季」で、新鮮な“発見”を与えてくれた。実はこれ、初の変化ではなく、「四季」の録音も7種全てが肌合いが違えば、90年代のシルブ盤の段階で、既に古楽演奏を彷彿させもする。大定番の食品や料理が、時代の嗜好に沿って味付けを変えてきた話をよく耳にするが、まさにそれと同じだ。

むろん根底には、不変の味がある。温かく爽快で親密な音楽は、いつも幸せな気持ちにさせてくれる。この“安心”感是不変だ。

公演前半のプログラムも然り。09年には映画音楽、11年には結成60年記念委嘱作など、毎回“発見”が用意されている。今回は何とヴェルディの生誕200年を記念し「イタリア・オペラ」に因んだ音楽。これは演目を眺めただけで心が弾むし、“安心”に浸るならば、定番パロックの方を選んでもいい。

それに、イ・ムジチの公演会場は、クラシック音楽を「普通に楽しむ」という日本では稀な雰囲気の中に包まれている。素敵な演奏が素敵な聴衆を呼ぶ——だから初めての人も“安心”だ。

“安心”と“発見”あってこそ“永遠”。かくしてイ・ムジチは、今回もまた皆の足を運ばせる。

柴田 克彦 (音楽評論家)

## イ・ムジチ合奏団 | Musici



1952年、ローマのサンタ・チェチーリア音楽院の卒業生12人によって結成。指揮者をおかないこうした合奏団は当時ほとんどなく、イタリアの指揮の巨人トスカニーニは「素晴らしい！絶品だ！まだ音楽は死んでいなかった！」という絶賛の言葉を残した。そして、バロック音楽、特にヴィヴァルディ「四季」はイ・ムジチによって現在のようにポピュラーになったと言っても過言ではない。以来半世紀余、彼らの変わらぬサウンドはいかなる学術的な独断主義に束縛されることなく、自由な演奏を続けている。2011/12年シーズンには結成60年を迎え、ワールド・ツアーを行った。

“イ・ムジチは生命の根源的な衝動を呼び起こす。彼らの演奏は、五感に訴えかけ、様式美にあふれ、非の打ちどころがない芸術性を湛えている。”

ロバート・シャーマン (ニューヨーク・タイムズ紙)

“イ・ムジチは今なお、イタリアの器楽文化の最高の代名詞の一つである。”

ヴェルニエロ・リッツアルディ (ヌオーヴォ・ディ・ヴェネツィア紙)

### Members

Vn: アントニオ・アンセルミ / マルコ・セリーノ / エットーレ・ベレグリーノ / バスカール・ベレグリーノ / ジャンルカ・アポストリ / フランチェスカ・ヴィカッリ  
Va: マッシモ・パリス / シルヴィオ・ディ・ロッコ Vc: ヴィト・パテルノステル / ピエトロ・ボスナ Cb: ロベルト・ガンビオーリ  
Cem: フランチェスコ・ブッカレッラ



## イ・ムジチ 歴史ある“音楽家たち”による、 世界が認める新しい『四季』

「四季」の代名詞とも言える“音楽家たち”がおくる、新たな息吹。半世紀以上にわたり、ヴィヴァルディの「四季」を世界中に知らしめてきた I MUSICI (イ・ムジチ) による新たな「四季」。  
2012年新録音源が完成！

『ヴィヴァルディ：四季』／イ・ムジチ  
好評発売中 ¥3,059 (税込) ESCC 33 CD1枚組

### 響き合うもうひとつの 「四季」



歌声だけで表現される、  
世界にただひとつの『四季』  
『ヴィヴァルディ：四季』/アウラ  
¥3,059 (税込) ESCL 3932

## チケットのお申込み

### カジモト・イープラス 0570-06-9960

※音声自動応答で承りますが、オペレーター(10:00~18:00)もご選択いただけます。ホームページからお申込みいただけます(パソコンもケータイも同じアドレス)。

カジモト・イープラス  <http://kajimotoeplus.com/>

0570で始まるナビダイヤル番号は、PHS、IP電話など一部の回線からは接続されない場合がございます。NTT加入電話、公衆電話などをご利用願います。

チケットぴあ 0570-02-9999 (Pコード: 197-902)  
e+ (イープラス) <http://eplus.jp/>  
CNプレイガイド 0570-08-9990  
ローソンチケット 0570-000-407  
サントリーホールチケットセンター 0570-55-0017

**twitter** @kajimoto\_News  
**f** <http://www.facebook.com/kajimotomusic>

便利なケータイサイトもぜひご利用ください。  
iモード・EZweb・Yahoo!ケータイ 対応  
チケットもご購入いただけます。

カジモト・イープラス



一般発売: 4/28(日) 10:00~

- やむを得ぬ事情により内容に変更が生じる場合がございますが、曲目変更などのために払い戻しはいたしませんのであらかじめご了承願います。
- 未就学児のご入場はご遠慮いただいております。
- 団体料金の設定のある公演もございます。詳しくはお問合せください。